

## 明海大学卒業生への就職に関するアンケート調査

以下の質問について、就職している方はご記入又は適当と思われる項目を○で囲んでください。その他の方はⅡ. 2をご回答ください。

### I. 基礎項目 現在の就業状況についてお伺いいたします。

1. 所在地 : 都・道・府・県 (事業所等の所在地)
2. 従業員数 : 約 人 (企業の場合は全体の人数)
3. 資本金 : 万円 (企業の方のみお答えください)
4. 業種 : 1. 農業、林業 2. 漁業 3. 鉱業、採石業、砂利採取業 4. 建設業 5. 製造業 6. 電気、ガス、熱供給、水道業 7. 情報通信業 8. 運輸業、郵便業 9. 卸売業、小売業 10. 金融業、保険業 11. 不動産業、物品賃貸業 12. 学術研究、専門・技術サービス業 13. 宿泊業、飲食サービス業 14. 生活関連サービス業、娯楽業 15. 教育、学習支援業 16. 医療、福祉 17. 複合サービス事業 18. その他 ( )

### Ⅱ. 調査項目

1. 現在の企業 (団体等) に、卒業後最初に就職した。 はい・いいえ

「はい」と回答された方 :

- (1) この企業を選んだきっかけは何ですか。

大学掲示板・大学幹旋・大学企業セミナー等・教員推薦・アルバイト・一般募集広告・その他  
( )

- (2) この企業は大学での教養教育が活かしていますか。はい・いいえ

- (3) この企業は大学での専門教育が活かしていますか。はい・いいえ

「いいえ」と回答された方 :

- (1) 現在の企業は何度目の就職になりますか。2 度目・3 度目以上

- (2) 最初に就職した企業は何年何月に退職しましたか。

2019 年 2020 年 2021 年 2022 年 ( 月)

2. 明海大学卒業生の就業力を向上させる取り組みが必要と思われるものを○で囲んでください。(複数回答可)

- (1) 専門領域の知識 : 大学での学修成果の向上が必要。

- (2) 日本語コミュニケーション・スキル

- (3) 外国語コミュニケーション・スキル

- (4) 数量的スキル : 自然や社会的事象を論理的に分析理解する。

- (5) 情報リテラシー : 多様な情報を適正に判断し効果的に活用する。

- (6) 論理的思考力 : 情報や知識を複眼的、論理的に分析する。

- (7) 問題解決力 : 問題を発見し確実に解決できる。

- (8) 自己管理能力 : 自らを律して行動できる。

- (9) チームワーク、リーダーシップ

- (10) 倫理観 : 自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる。

- (11) その他 ( )

ありがとうございました。

## ■ 卒業生アンケート傾向分析【2020～2022 年度】

### 目的

卒業生にアンケート調査を行い、本学の教育力向上及び学生の社会的・職業的自立に対する指導に関する情報を収集する。

### 調査概要

調査対象：卒業生全員（卒業後 3 年に至る方。留学生を除く。）

調査方法：調査対象者に調査内容を記載した往復はがきを送付し、回収した。

	2022 年度	2021 年度	2020 年度
発送数 a	561	584	723
住所不明 b	69	65	111
回収数 c	29	29	46
回収率 $c/(a-b)$	5.9%	5.6%	7.5%

### 結果の概要

- ・回答者の多くは東京都又は千葉県企業に就業しており、業種は多岐に渡る。
- ・2022 年度は、過年度と比べ転職経験者の割合が減少した。
- ・2022 年度は転職経験者のうち 2 割が 2 回以上の転職を経験している。
- ・離職のタイミングは、年々早期離職の傾向にあったが、2022 年度は初年度で離職することなく、2 年目で 6 割以上が離職している。
- ・転職未経験者の多くが、就職情報サイト等外部の媒体を活用して求人情報を収集している。その一方で、大学からの斡旋、大学企業セミナー、GSM インターンシップなど、大学がきっかけとなり就職先を選択した卒業生も一定数いる。
- ・転職未経験者の半数以上が大学で学んだ専門教育及び教養教育が就職後に活かされていると感じており、2 年連続で回答数が増加した。
- ・2020～2022 年度の傾向として、「問題解決力」「自己管理力」「情報リテラシー」を身につけることが、就業力を向上させると考える卒業生が多い。

### 分析・対策等

- ・大学企業セミナーにより就職先を選択した卒業生が一定数いることから、求人開拓や企業セミナー等のイベントを開催し、企業とのパイプ作りを強化する必要がある。
- ・就業先での情報リテラシーの必要性が高まっていることから、学修の基礎Ⅲをはじめとした教育の強化が必要である。

### 詳細

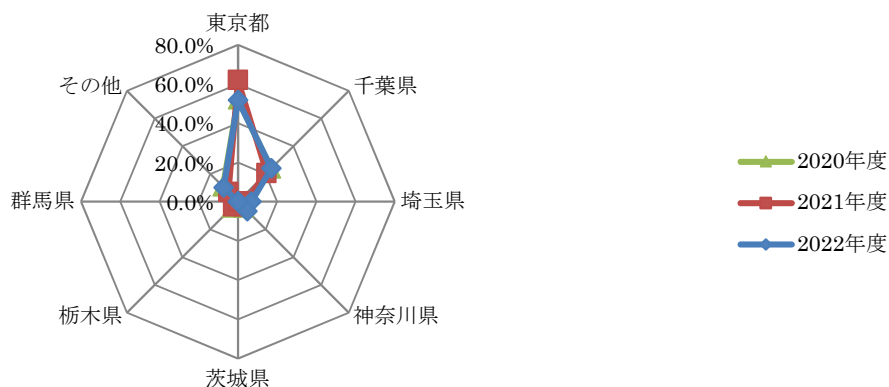
※ 以下、各項目の割合については、四捨五入で計算し表記していることから、合計値が 100%にならない場合がある。

## 1 就業状況

### (1) 事業所等の所在地

2022年度は、過年度と同様に回答者の多くが本学所在地（浦安キャンパス）に近い東京都又は千葉県で就業中である。（図1-1）

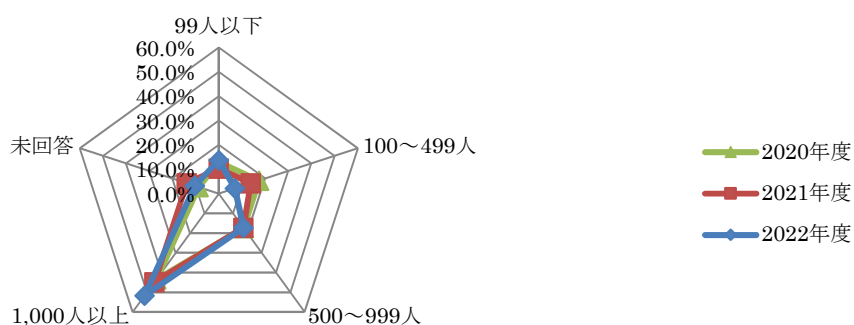
**図1-1 事業所等の所在地**



### (2) 従業員数

2022年度は、過年度と同様に「1,000人以上」の企業で就業している回答者が最も多かった。（図1-2）

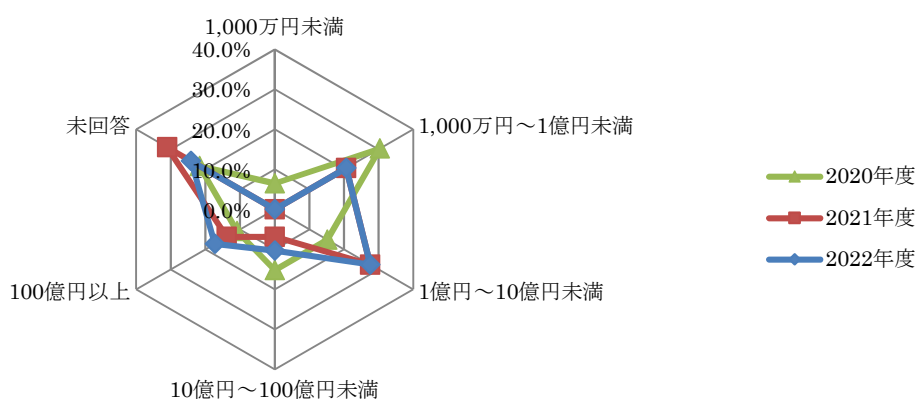
**図1-2 従業員数**



### (3) 資本金

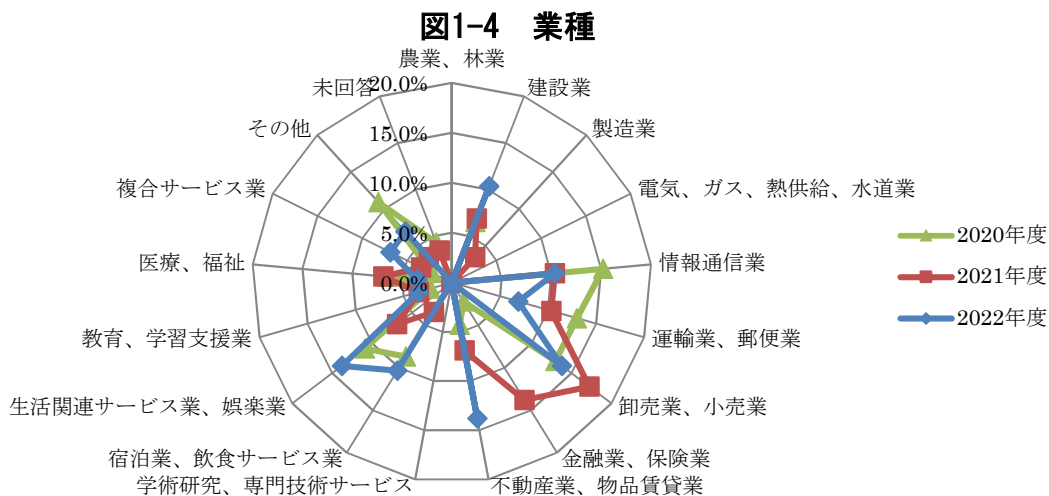
2021~2022年度は「1億円以上~10億円未満」以上の割合が増え、過年度よりも資本金規模が大きい企業で就業している割合が増えた。（図1-3）

**図1-3 資本金**



(4) 業種

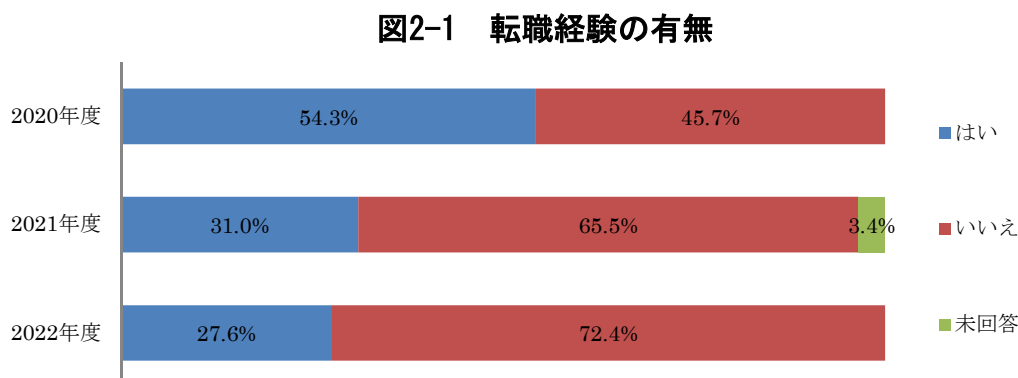
過年度と同様に、様々な業種に就業しているが、2022年度は「卸売業、小売業」「不動産業、物品賃貸業」「生活関連サービス業、娯楽業」に従事する卒業生が多かった。(図1-4)



2 転職経験

(1) 転職経験の有無

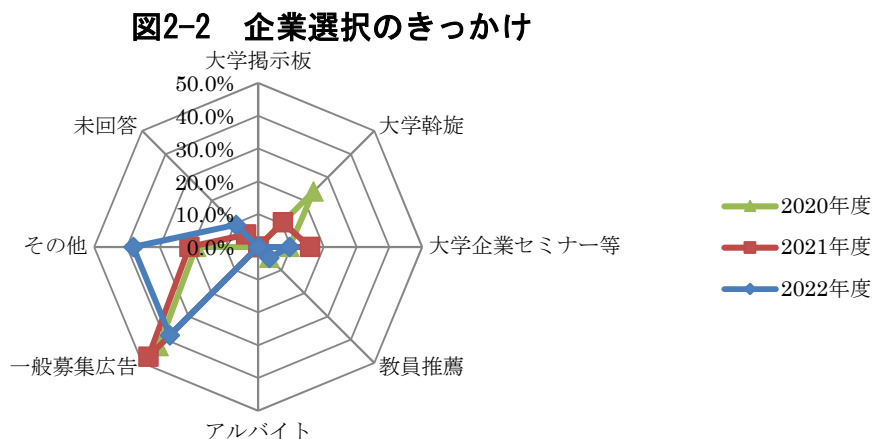
2022年度は、過年度と比べ転職経験者の割合が減少した。(図2-1)



(2) 転職経験「なし」回答者への設問

ア 現在の就職先を選んだきっかけ

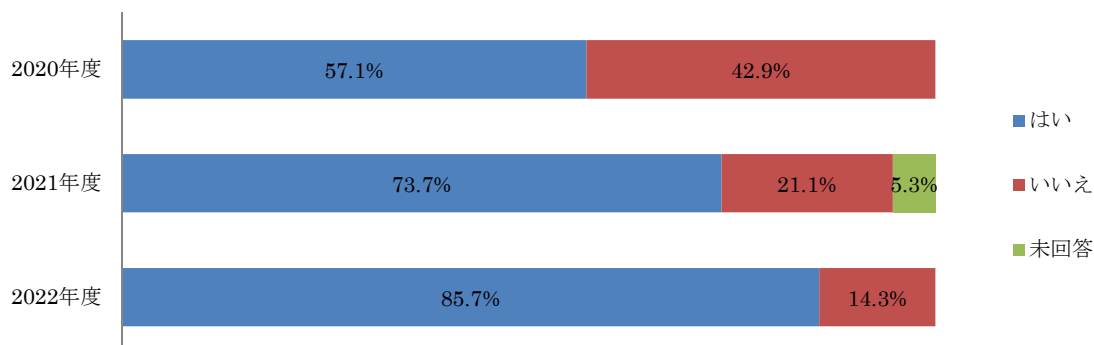
2022年度は、就職情報サイト等外部の媒体を活用して就職先を選択した回答者が過年度同様に多かった。また、例年大学がきっかけとなり就職先を選んだ者も一定数存在し、2022年度は「GSM インターンシップ」との回答もあった(図2-2)



### イ 大学で学んだ教養教育の活用

2021年度から2年連続で、大学で学んだ教養教育が活かしているとの回答が増加した。(図2-3)

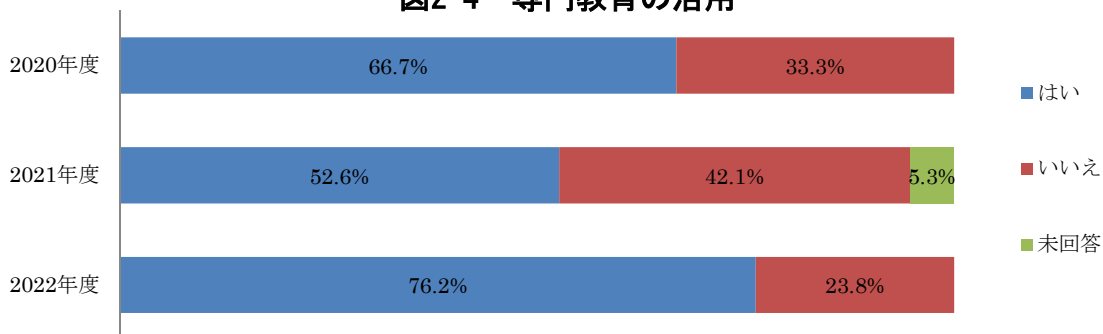
図2-3 教養教育の活用



### ウ 大学で学んだ専門教育の活用

2022年度は回答の8割弱が大学で学んだ専門教育を活かしていると回答した。(図2-4)

図2-4 専門教育の活用

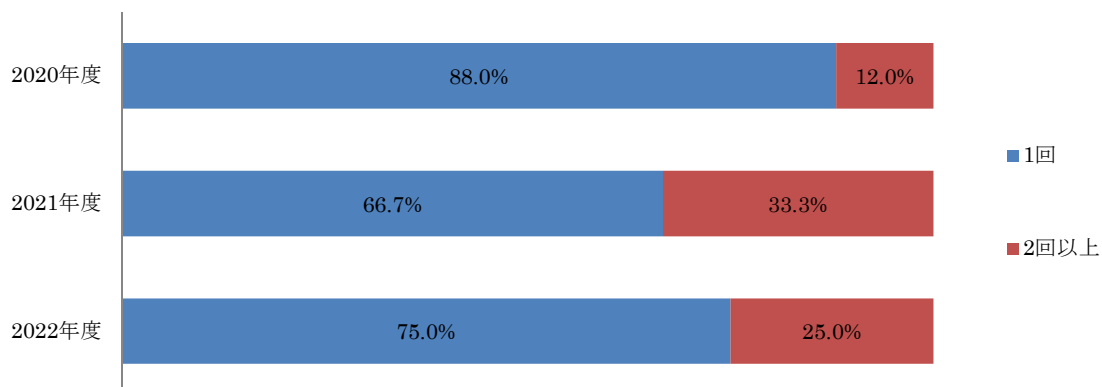


### (3) 転職経験「あり」回答者への設問

#### ア 転職回数

2022年度は2回以上の転職を経験している割合が2021年度に比べて減少した。(図2-5)

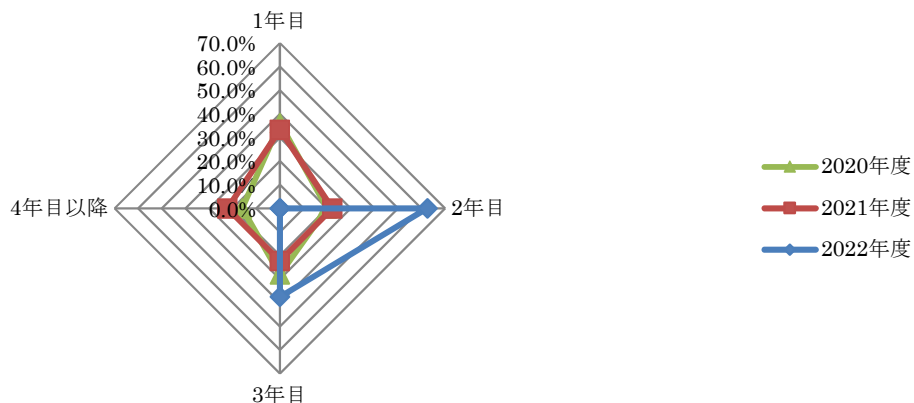
図2-5 転職回数



### イ 初めての就職先を離職した時期

2020年度及び2021年度は入社初年度の離職率が高く、年々早期離職の傾向がみられたが、2022年度は初年度で離職することなく、2年目で6割以上が離職している。  
(図2-6)

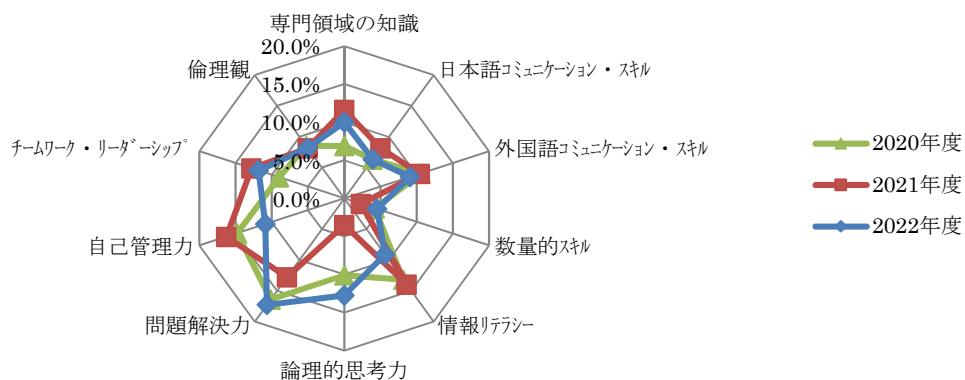
図2-6 離職の時期



### 3 就業力を向上させる取組み

2022年度に最も回答が多かったのは「問題解決力」であった。一方で、「数量的スキル」は過年度と同様に最も回答が少なかった。昨年と比べて「問題解決力」と「論理的思考力」が大きく伸びる結果となった。3か年の傾向として「問題解決力」「自己管理能力」「情報リテラシー」を身につけることが就業力を向上させると考える卒業生が多い。(図3)

図3 就業力を向上させる取組み



### 4 添付資料

明海大学卒業生への就職に関するアンケート調査集計結果 (2022年度)

明海大学卒業生への就職に関するアンケート調査集計結果（2022年度）

1 発送対象等

2018年度卒業生全員（卒業後3年に至る方。留学生を除く。）

対象者数：561名

2 発送数・回収状況等

発送数 a	561
住所不明 b	69
回収数 c	29
回収率 $c/(a-b)$	5.9%

3 現在の就業状況

回答があった29名全員が就職している。

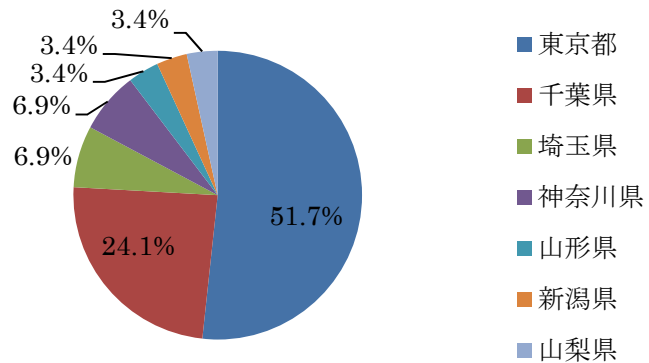
I 基礎項目 現在の就業状況

※ 以下、各項目の割合については、四捨五入で計算し表記していることから、合計値が100%にならない場合がある。

1 事業所等の所在地

事業所等の所在地は、「東京都」が最も多く15件（51.7%）、次いで「千葉県」の7件（24.1%）となり、合わせると7割以上が本学所在地（浦安キャンパス）から近い東京都又は千葉県で就業している。

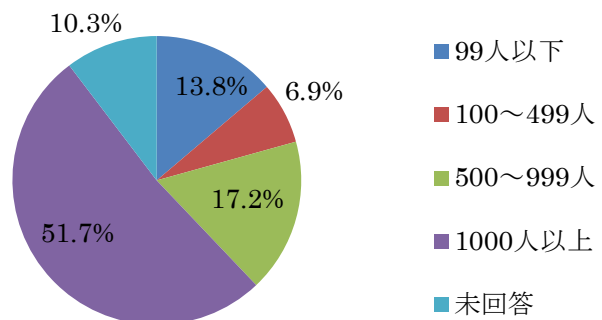
都道府県	回答数
東京都	15
千葉県	7
埼玉県	2
神奈川県	2
山形県	1
新潟県	1
山梨県	1
合計	29



2 従業員数

従業員規模別では、「1,000人以上」が最も多く15件（51.7%）であった。回答のうち、従業員数が最も少なかったのは、10人（東京都／複合サービス事業）で、最も多かったのは、30,000人（東京都／生活関連サービス業、娯楽業）であった。

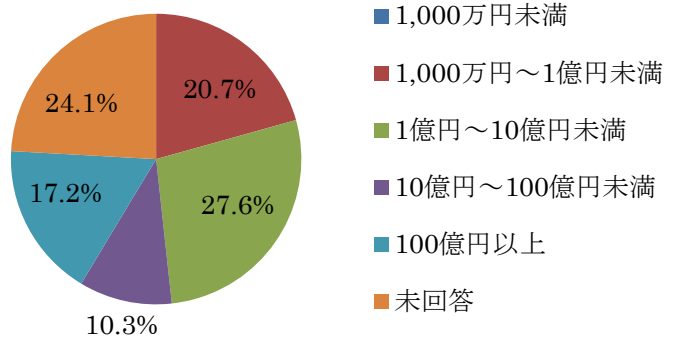
従業員数	回答数
99人以下	4
100～499人	2
500～999人	5
1,000人以上	15
未回答	3
合計	29



### 3 資本金

資本金規模別では、「1億円～10億円未満」が最も多く8件（27.6%）、次いで「1,000万円～1億円未満」の6件（20.7%）であった。回答のうち、資本金の最小額は1,000万円（東京都／建設業、複合サービス業、埼玉県／医療、福祉）で、最大額は5,000億円（東京都／生活関連サービス業、娯楽業）であった。

資本金	回答数
1,000万円未満	0
1,000万円～1億円未満	6
1億円～10億円未満	8
10億円～100億円未満	3
100億円以上	5
未回答	7
合計	29



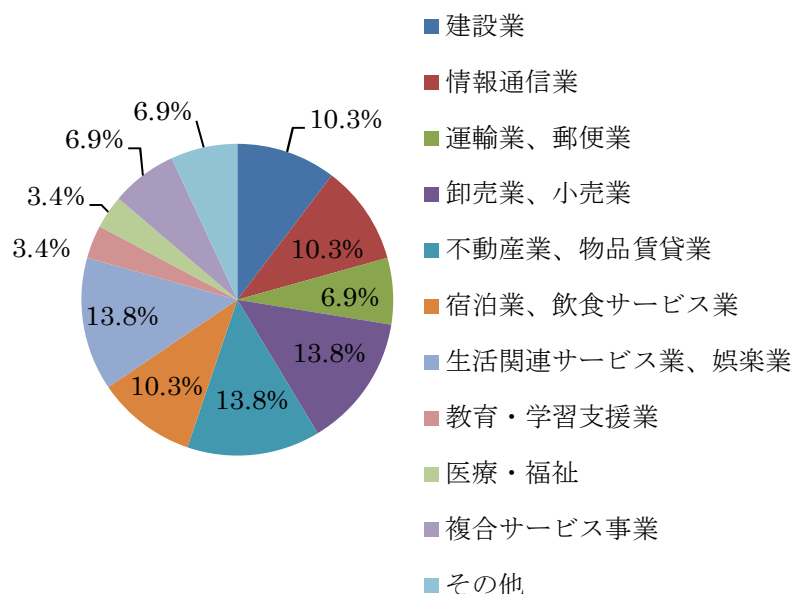
### 4 業種

現在就業している企業等の業種については、「その他」の回答を除き10業種に分布が見られた。

最も多かった業種は、「卸売業、小売業」の4件（13.8%）、件数を同じくして「不動産業、物品賃貸業」「生活関連サービス業、娯楽業」であった。なお、「その他」の業種として、警察、官公庁との回答があった。

一方、次の7業種「農業・林業」・「漁業」・「鉱業・採石業・砂利採取業」・「電気、ガス、熱供給、水道業」・「学術研究、専門・技術サービス業」「製造業」「金融業、保険業」については、該当がなかった。

業種	回答数
建設業	3
情報通信業	3
運輸業、郵便業	2
卸売業、小売業	4
不動産業、物品賃貸業	4
宿泊業、飲食サービス業	3
生活関連サービス業、娯楽業	4
教育・学習支援業	1
医療・福祉	1
複合サービス事業	2
その他	2
合計	29

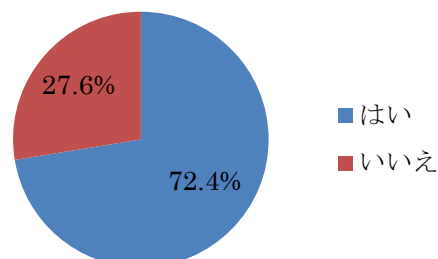


## II 調査項目

### 1 現在の企業（団体等）に、卒業後最初に就職した。

卒業後最初に就職した企業（団体等）に継続して勤務している者は21件（72.4%）であった。一方、転職を経験している者は8件（27.6%）となり、回答者の約3割が転職経験者であることがわかった。

回答	回答数
はい	21
いいえ	8
合計	29



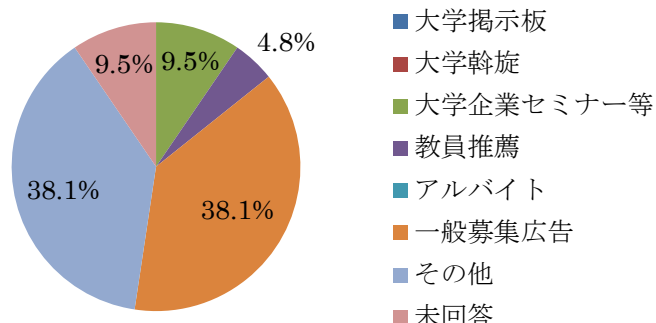


II-1で「はい」と回答された方（算出母数 21）：

(1) この企業を選んだきっかけは何ですか。

最も多かったのは、「一般募集広告」の 8 件（38.1%）であり、学生が企業情報の主な情報源として就職情報サイト等外部の媒体を活用し主体的に動いていることがわかる。一方で、「大学企業セミナー等」との回答もあり、学内における企業と学生のマッチングの効果が出ていることがわかる。また、その他の回答として「GSM インターンシップ」「幼少期からの夢」があった。

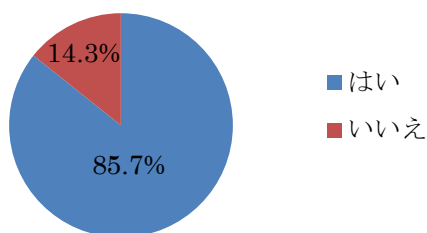
企業を選んだきっかけ	回答数
大学掲示板	0
大学斡旋	0
大学企業セミナー等	2
教員推薦	1
アルバイト	0
一般募集広告	8
その他	8
未回答	2
合計	21



(2) この企業は大学での教養教育が活かしていますか。

大学での教養教育が活かしていると回答した者が 18 件（85.7%）と、活かしていないと回答する者 3 件（14.3%）を上回った。

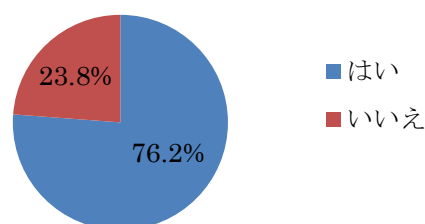
回答	回答数
はい	18
いいえ	3
合計	21



(3) この企業は大学での専門教育が活かしていますか。

大学での専門教育が活かしていると回答した者が 16 件（76.2%）と、活かしていないと回答する者 5 件（23.8%）を上回った。

回答	回答数
はい	16
いいえ	5
合計	21

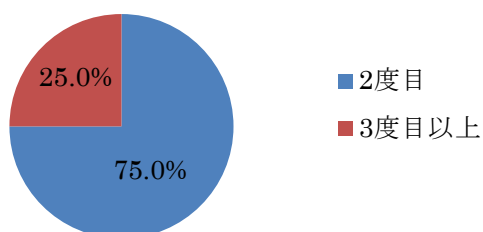


II-1で「いいえ」と回答された方（算出母数 8）：

(1) 現在の企業は何度目の就職になりますか。

回答者のうち「2 度目」の就職と回答した者が 6 件（75.0%）と、「3 度目以上」と回答する者 2 件（25.0%）を上回った。

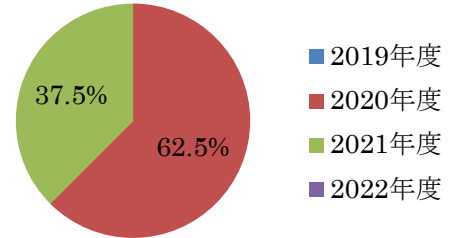
回答	回答数
2 度目	6
3 度目以上	2
合計	8



(2) 最初に就職した企業は何年何月に退職しましたか。

回答者のうち、「2020年度（入社2年目）」に退職した者が5件（62.5%）と最も多かった。就業者（母数29）に占める3年以内の転職者（母数8）の割合は27.6%であった。今回の調査では厚生労働省が発表した平成31年3月新規大卒就職者の就職後3年以内離職率の31.5%を下回ってはいるが、入社2年目に退職した者が多いことから、在学中にいかに内定企業とのミスマッチを防ぐかが鍵となりそうである。

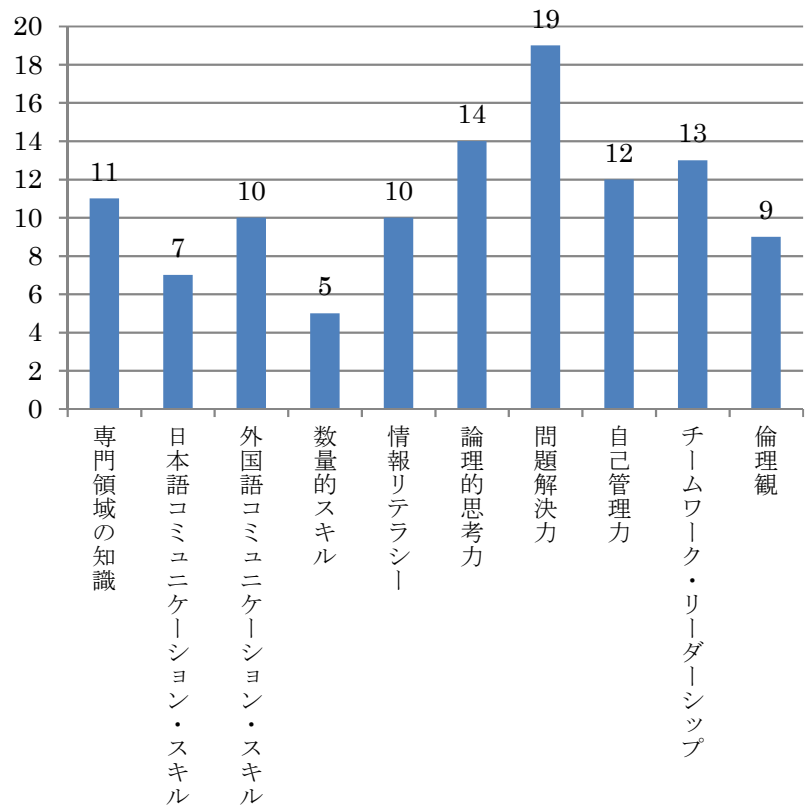
退職年度	回答数	備考（退職月内訳）
2019年度（初年度）	0	
2020年度（2年目）	5	2020年 8月 1名 2020年 12月 1名 2021年 2月 1名 他、2020年退職月不明 2名
2021年度（3年目）	3	2021年 8月 1名 2021年 12月 2名
2022年度（4年目）	0	
合計	8	



2 明海大学卒業生の就業力を向上させる取り組みとして必要と思われるものを選んでください。（複数回答可）

就業力向上のための取り組みとして必要なものに「問題解決力」を挙げた者が19件（回答者の65.5%）と最も多く、次いで「論理的思考力」の14件（回答者の48.3%）であった。一方で最も少なかったのは「数量的スキル」の5件（回答者の17.2%）であった。

回答	回答数
専門領域の知識	11
日本語コミュニケーション・スキル	7
外国語コミュニケーション・スキル	10
数量的スキル	5
情報リテラシー	10
論理的思考力	14
問題解決力	19
自己管理能力	12
チームワーク・リーダーシップ	13
倫理観	9



## 明海大学卒業生に関するアンケート調査

以下の質問について、ご記入又は適当と思われる項目の番号を○で囲んでください。

### I. 基礎項目 貴社の概要についてお伺いいたします。

1. 所在地： 都道府県（ご回答いただく貴社の所在地）

2. 従業員数： 約 人（貴社全体の人数）

3. 資本金： 万円

4. 業種： 1. 農業、林業 2. 漁業 3. 鉱業、採石業、砂利採取業 4. 建設業 5. 製造業 6. 電気、ガス、熱供給、水道業 7. 情報通信業 8. 運輸業、郵便業 9. 卸売業、小売業 10. 金融業、保険業 11. 不動産業、物品賃貸業 12. 学術研究、専門・技術サービス業 13. 宿泊業、飲食サービス業 14. 生活関連サービス業、娯楽業 15. 教育、学習支援業 16. 医療、福祉 17. 複合サービス事業 18. その他（ ）

5. 現在の明海大学卒業生の在職者数（大学院修了生を含む）： 人

### II. 調査項目 明海大学卒業生の印象などをお伺いいたします。

1. 採用に当たってどのような点を重視しますか。

（次の3項目すべてについて、各々該当する5～1の番号を○で囲んでください。5非常に重視、4やや重視、3普通、2余り重視しない、1重視しない）

1) 学力（専門・基礎） 5・4・3・2・1

2) 職務能力の適性 5・4・3・2・1

3) 人間性（積極性・協調性など） 5・4・3・2・1

4) その他（自由記入） \_\_\_\_\_

2. 明海大学卒業生の印象について、どのように評価されていますか。

（次の8項目すべてについて、各々該当する5～1の番号を○で囲んでください。5優れる、4やや優れる、3普通、2やや劣る、1劣る）

1) 仕事に対する知識・基礎学力 5・4・3・2・1

2) 仕事に対する理解・判断力 5・4・3・2・1

3) 仕事に対する職務遂行能力 5・4・3・2・1

4) 対人関係、仕事の協調性 5・4・3・2・1

5) コミュニケーション能力 5・4・3・2・1

6) 責任感・粘り強さ・誠実性 5・4・3・2・1

7) 外国語（英語など）の能力 5・4・3・2・1

8) パソコン操作等の能力 5・4・3・2・1

9) その他（自由記入） \_\_\_\_\_

貴社名 \_\_\_\_\_

回答者の部署・役職 \_\_\_\_\_

## ■企業アンケート傾向分析【2020～2022 年度】

### 目的

卒業生を雇用いただいている企業にアンケート調査を行い、本学の教育力向上及び学生の社会的・職業的自立に対する指導に関する情報を収集する。

### 調査概要

調査対象：調査実施年度の前年度、前々年度に採用実績がある企業

調査方法：調査対象企業に調査内容を記載した往復はがきを送付し、回収した。

	2022 年度	2021 年度	2020 年度
発送数 a	600	535	566
住所不明 b	23	17	11
回収数 c	106	79	94
回収率 c/(a-b)	18.4%	15.3%	16.9%

### 結果の概要

- ・回答企業の多くは東京都・千葉県に所在する中小企業で、過年度と同様に「卸売業、小売業」からの回答が多かった。
- ・採用に当たっては、過年度と同様に「人間性」、「職務能力の適性」を非常に重視する企業が多く、学力は「普通」との回答が過半数を超える。
- ・卒業生の評価では、8領域のうち「職務遂行能力」、「対人関係・協調性」、「コミュニケーション能力」、「責任感・粘り強さ・誠実性」の4領域で7割以上の企業から「優れる・やや優れる」と評価されており、過年度と評価に変化はなかった。
- ・昨年度評価の低かった「外国語運用能力」、「パソコン操作能力」のうち、「パソコン操作能力」において昨年と比べ1割ほど良い評価となった。

### 分析・対策等

- ・採用に当たって学力を重視する企業もあり、採用選考時に SPI 等筆記試験を課す企業も多いことから、低学年からの基礎学力の強化については継続が必要である。
- ・卒業生の評価では、パソコン操作能力に関する回答が昨年と比べ1割ほど良い評価となった。しかし、人間性と比べ職務上で必要となる技術面での評価が低いことから、実践に即した語学力やパソコン操作能力の強化が今後も継続して必要である。

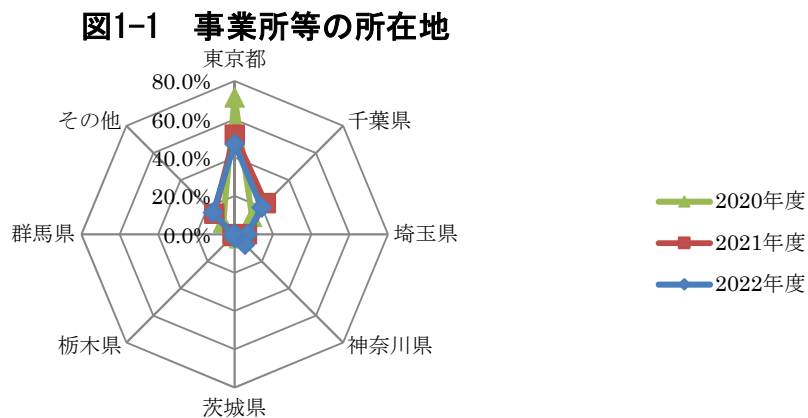
### 詳細

※ 以下、各項目の割合については、四捨五入で計算し表記していることから、合計値が100%にならない場合がある。

## 1 企業情報

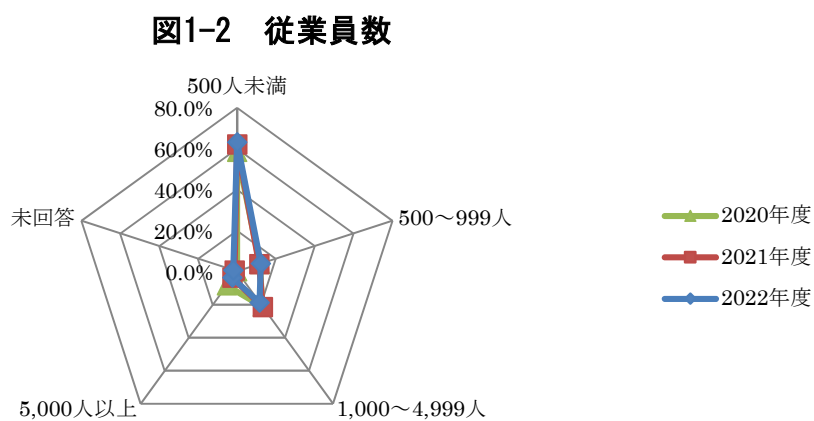
### (1) 事業所等の所在地

2022年度は、過年度と同様に回答企業の多くが「東京都」又は「千葉県」に所在する企業である。(図 1-1)



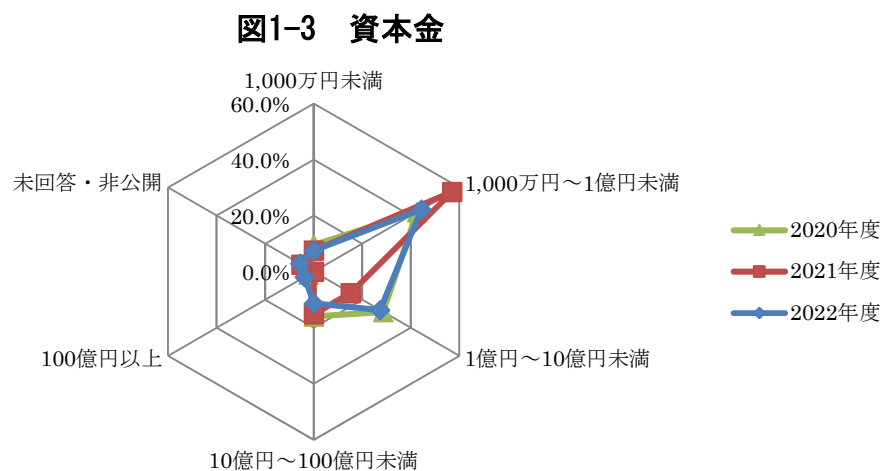
### (2) 従業員数

2022年度は、過年度と同様に回答企業の多くが従業員数「500人未満」の中小企業である。(図 1-2)



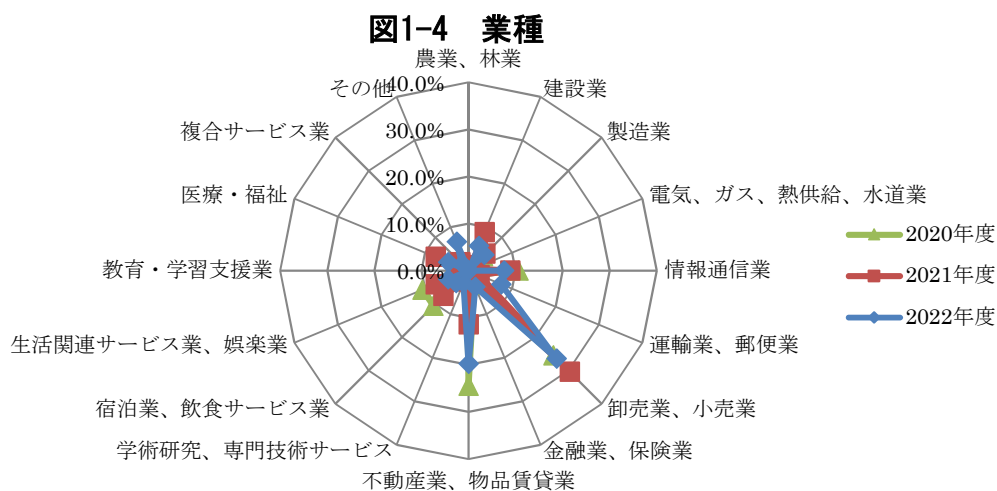
### (3) 資本金

2022年度は、過年度と同様に資本金「1,000万円～1億円未満」の企業が最も多い。(図 1-3)



(4) 業種

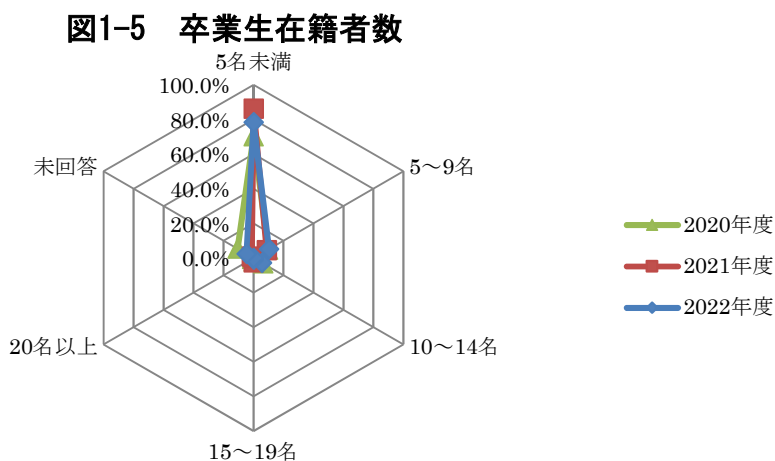
2022年度は、過年度と同様に「卸売業、小売業」からの回答が多かった。(図1-4)



(5) 卒業生在籍者数

2022年度は、過年度と同様に「5名未満」の企業が最も多く、約8割を占めた。(図1-5)

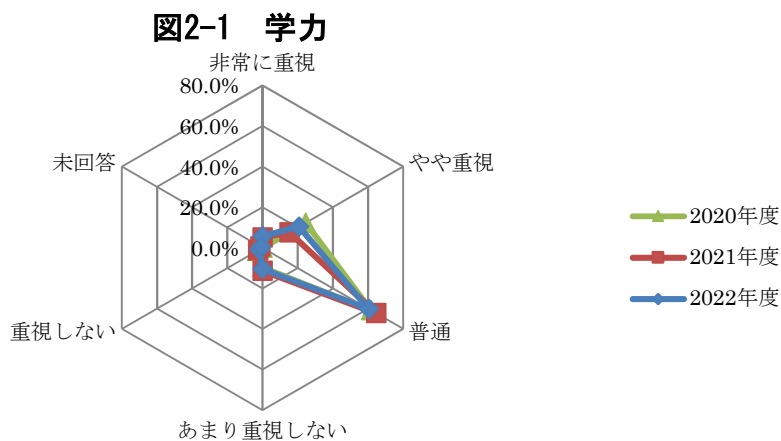
(図1-5)



2 採用に当たって重視する点

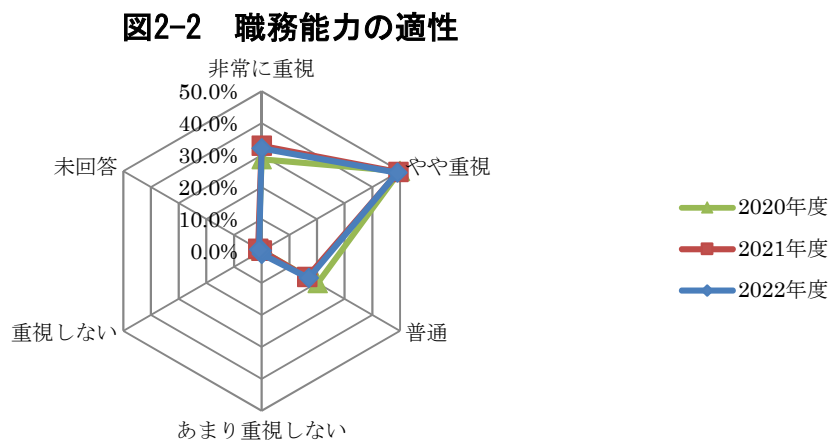
(1) 学力（専門・基礎）

2022年度回答企業の7割以上が「普通・あまり重視しない・重視しない」傾向にあり、過年度と同様である。(図2-1)



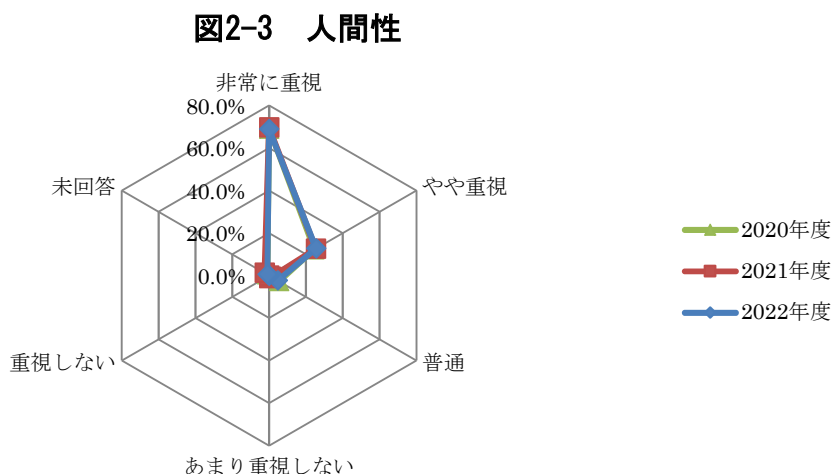
(2) 職務能力の適性

2022年度回答企業の8割以上が「非常に重視・やや重視」する傾向にあり、過年度と同様である。(図2-2)



(3) 人間性 (積極性・協調性など)

2022年度回答企業の9割以上が「非常に重視・やや重視」する傾向にあり、過年度と同様である。(図2-3)

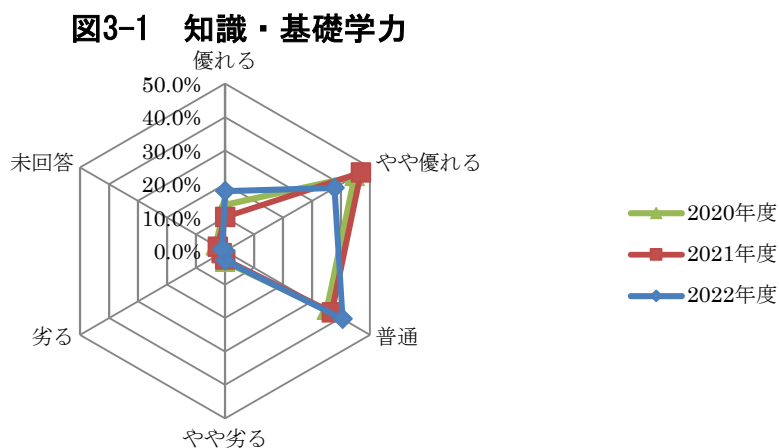


3 卒業生の評価

(1) 知識・基礎学力

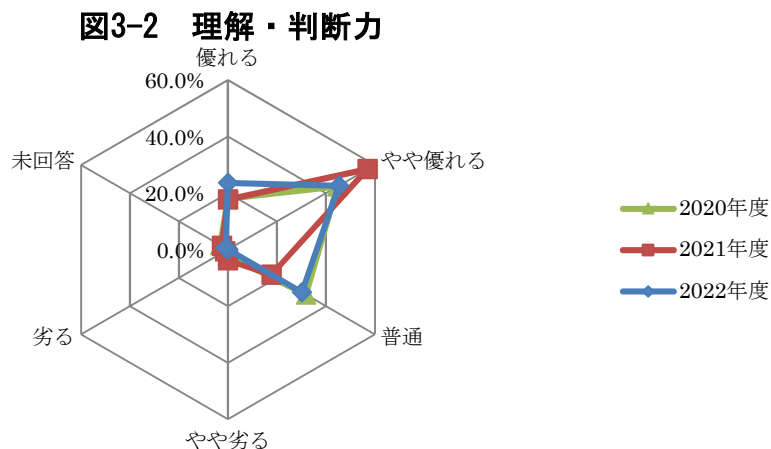
2022年度は、「優れる・やや優れる」との評価が6割弱を占め、過年度と同様である。

(図3-1)



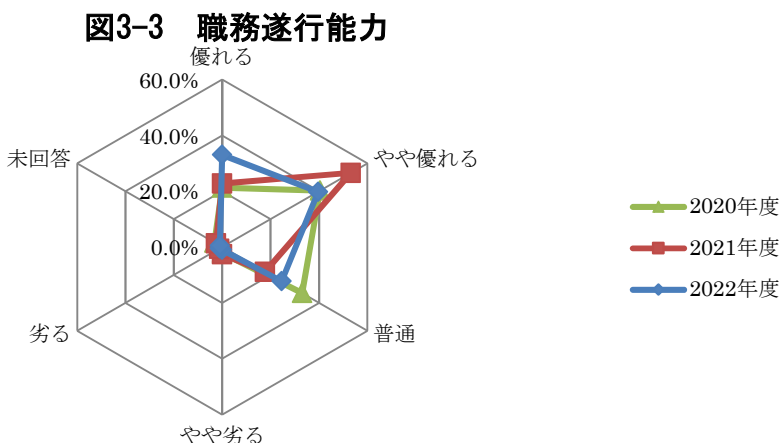
(2) 理解・判断力

2022年度は、7割弱の企業に「優れる・やや優れる」と評価されており、過年度と評価に変化はなかった。(図3-2)



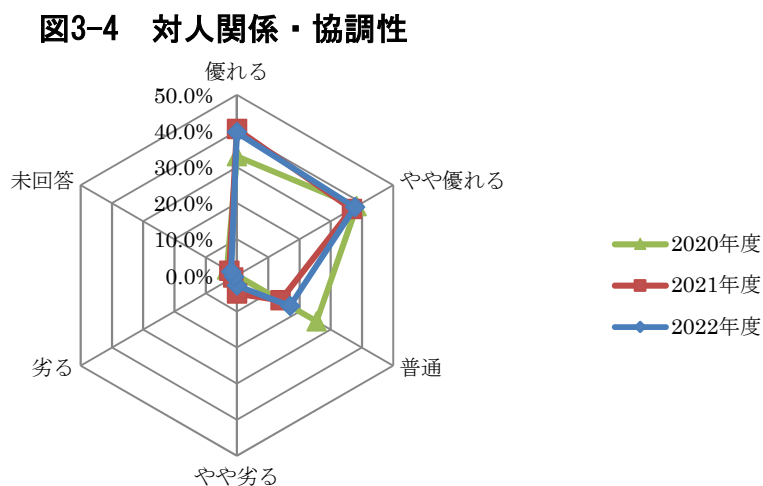
(3) 職務遂行能力

2022年度は、7割以上の企業に「優れる・やや優れる」と高く評価されており、過年度と評価に変化はなかった。(図3-3)



(4) 対人関係・協調性

2022年度は、8割弱の企業に「優れる・やや優れる」と高く評価されており、過年度と評価に変化はなかった。(図3-4)

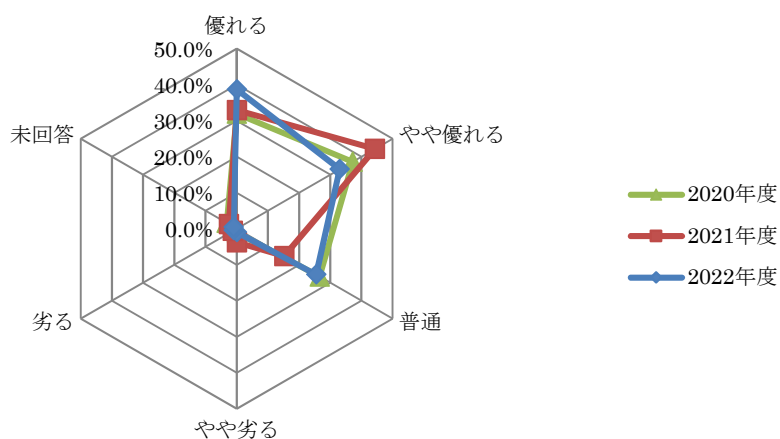




(5) コミュニケーション能力

2022年度は、7割以上の企業に「優れる・やや優れる」と高く評価されており、過年度と評価に変化はなかった。(図3-5)

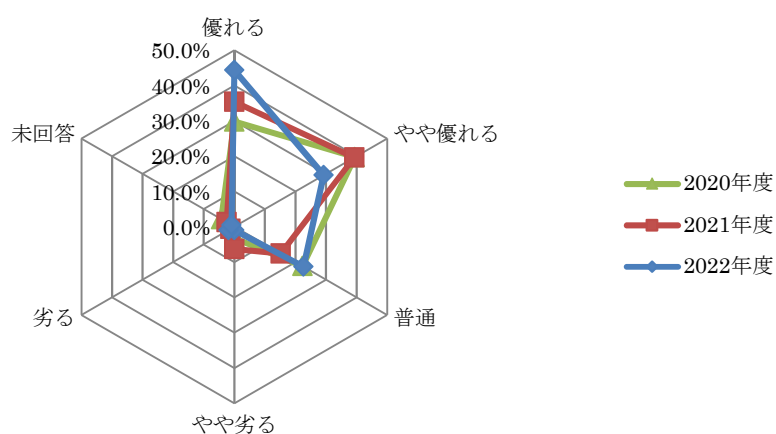
図3-5 コミュニケーション能力



(6) 責任感・粘り強さ・誠実性

2022年度は、7割以上の企業に「優れる・やや優れる」と高く評価されており、中でも「優れる」との回答が過年度より増えた。(図3-6)

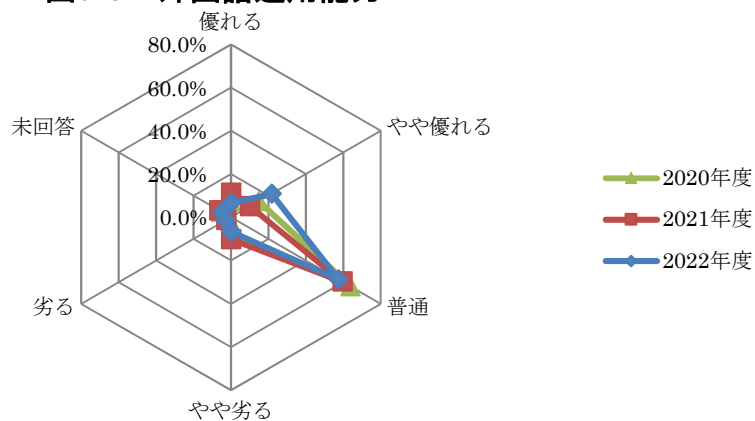
図3-6 責任感・粘り強さ・誠実性



(7) 外国語運用能力

2022年度は、「普通」との回答が6割弱と最も多く、過年度と評価に変化はなかった。(図3-7)

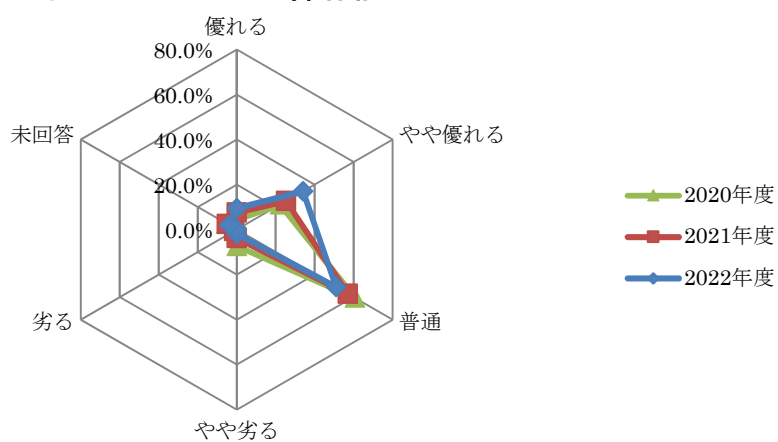
図3-7 外国語運用能力



(8) パソコン操作能力

2022年度は、「普通」との回答が過年度と同様に最も多いが、一方で、「優れる・やや優れる」との回答が約1割増えた。(図3-8)

図3-8 パソコン操作能力



4 添付資料

明海大学卒業生に関するアンケート調査集計結果 (2022年度)

明海大学卒業生に関するアンケート調査集計結果（2022年度）

1 発送対象等

2020年度から2021年度までの採用実績がある企業600社

2 発送数・回収状況等

発送数 a	600
住所不明 b	23
回収数 c	106
回収率 $c/(a-b)$	18.4%

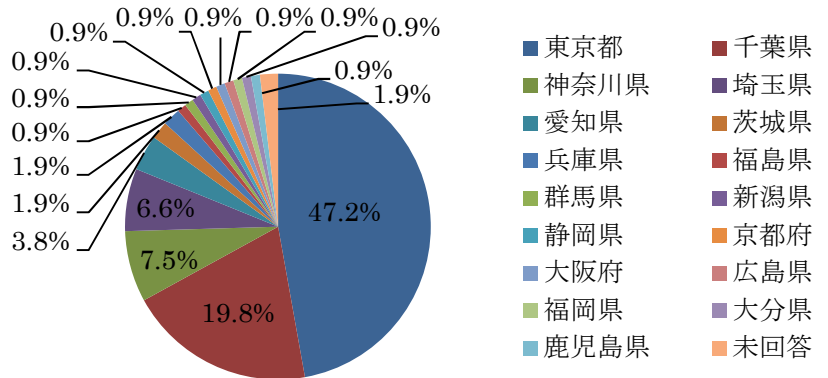
I 基礎項目 貴社の概要についてお伺いいたします。

※ 以下、各項目の割合については、四捨五入で計算し表記していることから、合計値が100%にならない場合がある。

1 所在地

企業の本社所在地は、「東京都」が最も多く50社（47.2%）であった。次いで、「千葉県」の21社（19.8%）であった。

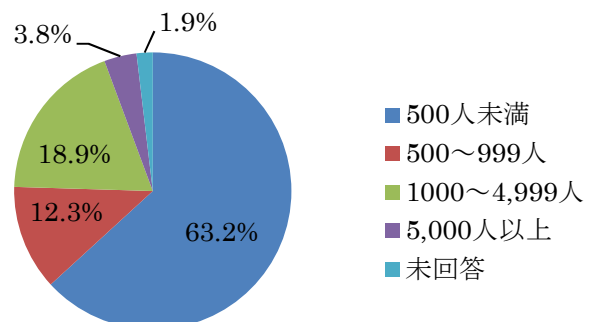
都道府県	回答数
東京都	50
千葉県	21
神奈川県	8
埼玉県	7
愛知県	4
茨城県	2
兵庫県	2
福島県、群馬県、新潟県、静岡県、 京都府、大阪府、広島県、福岡県、 大分県、鹿児島県	各1
未回答	2
合計	106



2 従業員数

従業員規模別では、「500人未満」が最も多く67社（63.2%）であった。回答のうち、従業員数が最も少なかったのは、2人（千葉県/建設業）で、最も多かったのは30,000人（東京都/卸売業、小売業）であった。

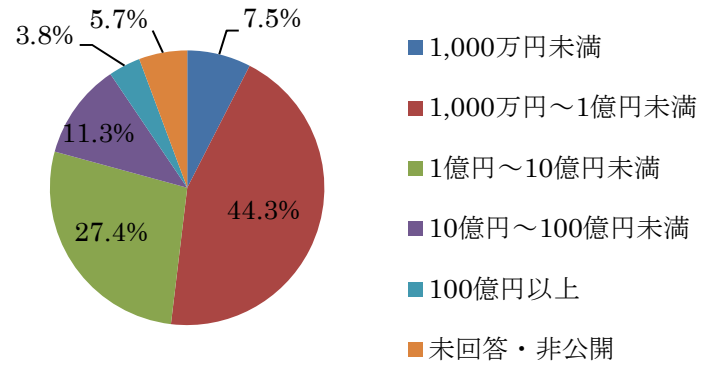
従業員数	回答数
500人未満	67
500～999人	13
1,000～4,999人	20
5,000人以上	4
未回答	2
合計	106



### 3 資本金

資本金規模別では、「1,000万円～1億円未満」が最も多く47社（44.3%）であった。回答のうち、資本金の最大額は621億2053万円（千葉県／金融業、保険業）であった。

資本金	回答数
1,000万円未満	8
1,000万円～1億円未満	47
1億円～10億円未満	29
10億円～100億円未満	12
100億円以上	4
未回答・非公開	6
合計	106

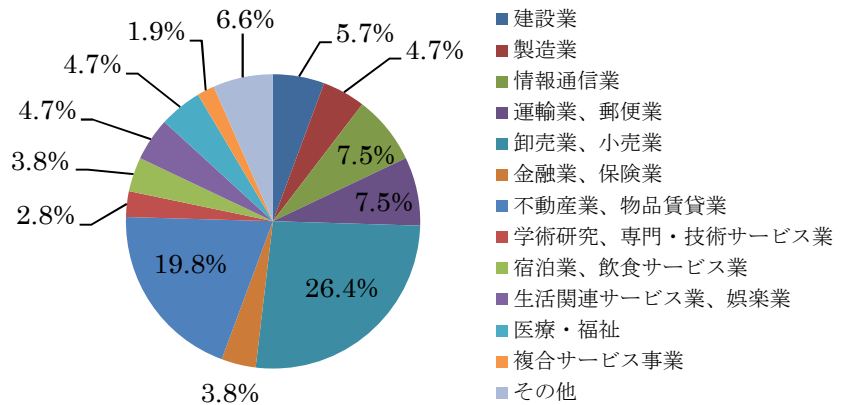


※回答に出資金を含む。

### 4 業種

最も多かった業種は、「卸売業、小売業」の28社（26.4%）、次いで「不動産業、物品賃貸業」の21社（19.8%）であった。

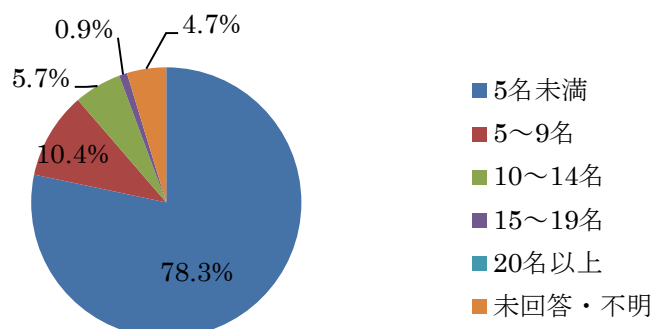
業種	回答数
建設業	6
製造業	5
情報通信業	8
運輸業、郵便業	8
卸売業、小売業	28
金融業、保険業	4
不動産業、物品賃貸業	21
学術研究、専門・技術サービス業	3
宿泊業、飲食サービス業	4
生活関連サービス業、娯楽業	5
医療・福祉	5
複合サービス事業	2
その他	7
合計	106



### 5 現在の明海大学卒業生の在籍者数

最も多かったのは「5名未満」の83社（78.3%）、次いで「5～9名」の11社（10.4%）であった。回答のうち、卒業生在籍者数が最も多かった企業は、15名（東京都／卸売業、小売業）であった。

卒業生在籍者数	回答数
5名未満	83
5～9名	11
10～14名	6
15～19名	1
20名以上	0
未回答・不明	5
合計	106



## II 調査項目

### 1 採用に当たってどのような点を重視しますか。

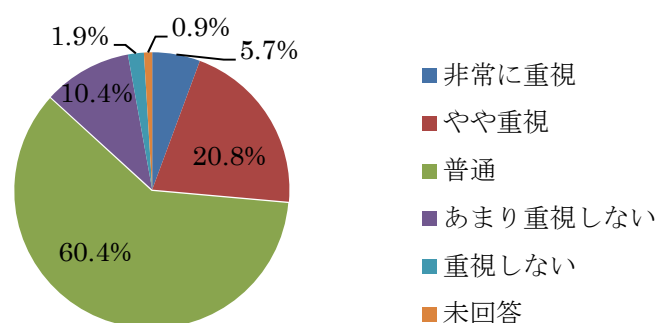
「学力（専門・基礎）」・「職務能力の適性」・「人間性（積極性・協調性など）」の3項目について、企業が最も重視しているのは、「人間性（積極性・協調性など）」で、「非常に重視」・「やや重視」を合わせて100社（94.3%）が重視していることがわかった。次に挙げられたのは、「職務能力の適性」で、「非常に重視」・「やや重視」を合わせて86社（81.1%）が重視していることがわかった。

一方で、「学力（専門・基礎）」については「普通」が最も多く、「あまり重視しない」・「重視しない」と合わせて77社（72.6%）であった。

以上の傾向は昨年と変わらないため、「学力（専門・基礎）」はもちろんのこと、学生にいかん「人間性（積極性・協調性など）」や「職務能力の適性」を身に付けさせるかが、採用時に求められる要素につながってくるものと思われる。

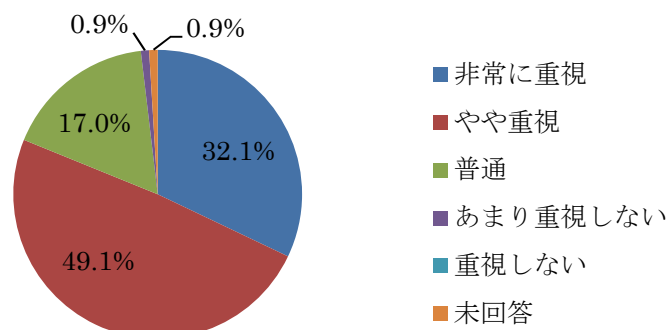
#### (1) 学力（専門・基礎）

学力	回答数
非常に重視	6
やや重視	22
普通	64
あまり重視しない	11
重視しない	2
未回答	1
合計	106



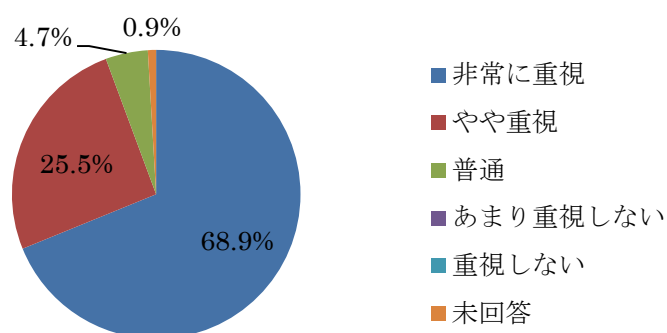
#### (2) 職務能力の適性

職務能力の適性	回答数
非常に重視	34
やや重視	52
普通	18
あまり重視しない	1
重視しない	0
未回答	1
合計	106



#### (3) 人間性（積極性・協調性など）

人間性	回答数
非常に重視	73
やや重視	27
普通	5
あまり重視しない	0
重視しない	0
未回答	1
合計	106



(4) その他（自由記入）

採用に当たって重視する点として、次の回答等があった。

コミュニケーション能力（3件）、素直さ、時間を守る人、真面目さ、誠実さ、健康面、堅実、社会性、意志・意欲、物事に興味を持てる力、ポジティブ、希望職種に関する技術力、偏らずバランス感覚、ホスピタリティ精神（医療、福祉）、接客の適性、ITへの熱意（情報通信業）、海が好き・ボートライセンス保有（プレジャーボート販売・管理等）

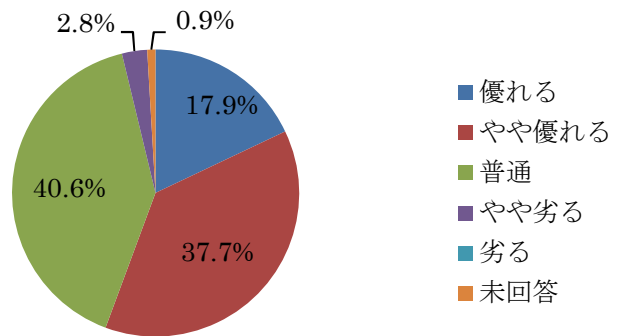
2 明海大学の卒業生の印象について、どのように評価されていますか。

明海大学の卒業生の印象については、調査項目 8 領域のうち 6 領域で「優れる」・「やや優れる」が過半数を占めた。最も高い評価を得たのは「対人関係、仕事の協調性」で、「優れる」・「やや優れる」を合わせて 82 社（77.4%）から回答があった。

一方、「普通」・「やや劣る」・「劣る」との回答が多かった領域は「外国語（英語など）の能力」（普通 61 社・やや劣る 7 社・劣る 3 社）・「パソコン操作等の能力」（普通 54 社・やや劣る 2 社）であった。この 2 領域においては、昨年よりも評価が良くなっているが、実践に即した能力の強化が今後も継続して必要である。

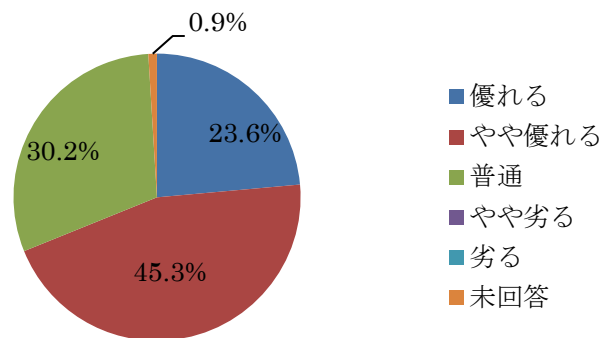
(1) 仕事に対する知識・基礎学力

知識・基礎学力	回答数
優れる	19
やや優れる	40
普通	43
やや劣る	3
劣る	0
未回答	1
合計	106



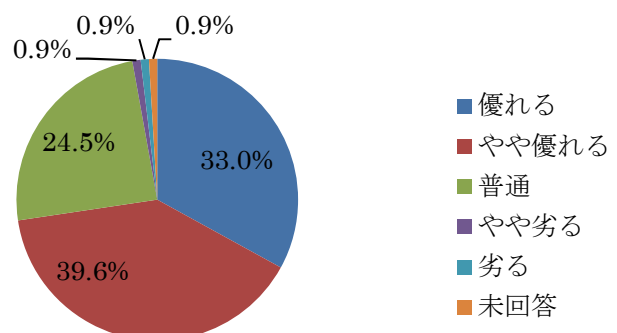
(2) 仕事に対する理解・判断力

理解・判断力	回答数
優れる	25
やや優れる	48
普通	32
やや劣る	0
劣る	0
未回答	1
合計	106



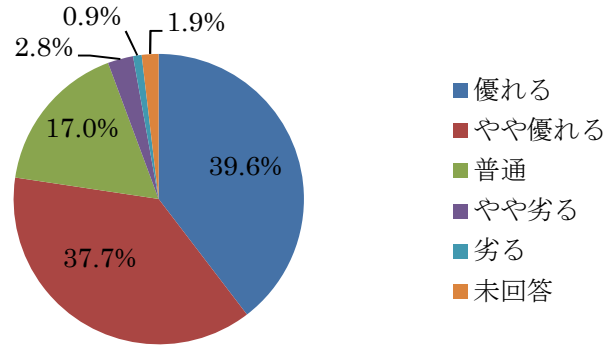
(3) 仕事に対する職務遂行能力

職務遂行能力	回答数
優れる	35
やや優れる	42
普通	26
やや劣る	1
劣る	1
未回答	1
合計	106



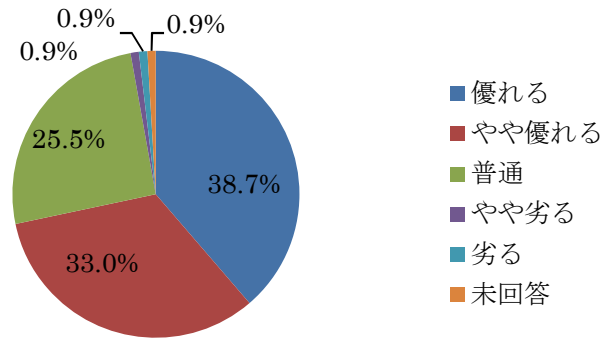
(4) 対人関係、仕事の協調性

対人関係、協調性	回答数
優れる	42
やや優れる	40
普通	18
やや劣る	3
劣る	1
未回答	2
合計	106



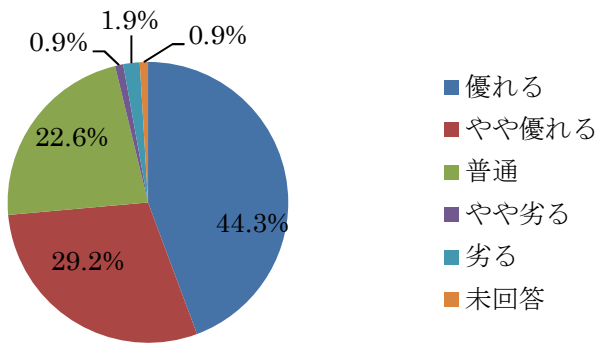
(5) コミュニケーション能力

コミュニケーション能力	回答数
優れる	41
やや優れる	35
普通	27
やや劣る	1
劣る	1
未回答	1
合計	106



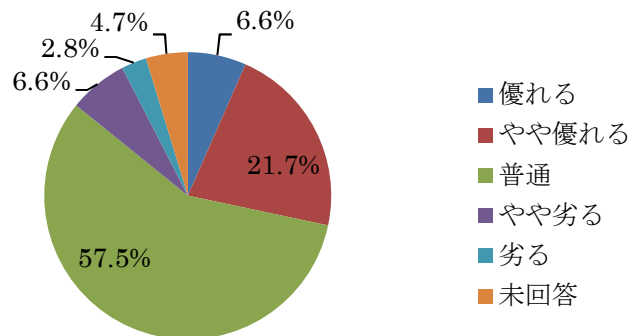
(6) 責任感・粘り強さ・誠実性

責任感・粘り強さ・誠実性	回答数
優れる	47
やや優れる	31
普通	24
やや劣る	1
劣る	2
未回答	1
合計	106



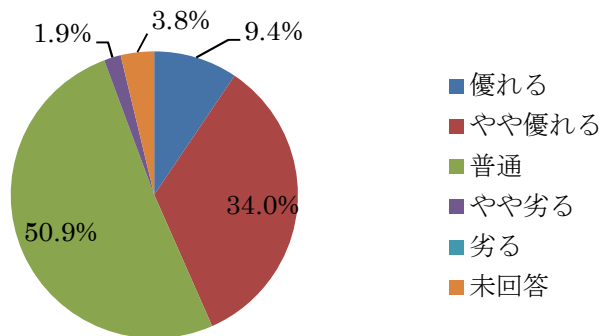
(7) 外国語（英語など）の能力

外国語の能力	回答数
優れる	7
やや優れる	23
普通	61
やや劣る	7
劣る	3
未回答	5
合計	106



(8) パソコン操作等の能力

パソコン操作等の能力	回答数
優れる	10
やや優れる	36
普通	54
やや劣る	2
劣る	0
未回答	4
合計	106



(9) その他（自由記入）

明海大学の卒業生の印象について、次の回答等があった。

- ・ 臨機応変に明るくやってくれています。
- ・ 業務スキル、ヒューマンスキル共に非常にご活躍頂いております。
- ・ 真面目で誠実、堅実な方が多いです。
- ・ 社会で活用できる汎用性のある能力は優れています。
- ・ セールスとして活躍しております。
- ・ 責任感がある。
- ・ 誠実である。
- ・ 英会話さえできればOK。



## 明海大学生に関するアンケート調査

以下の質問について、ご記入又は適当と思われる項目の番号を○で囲んでください。

### I. 基礎項目 貴社の概要についてお伺いいたします。

1. 従業員数：約 \_\_\_\_\_ 人（貴社全体の人数）
2. 資本金： \_\_\_\_\_ 万円
3. 業種： 1. 農業、林業 2. 漁業 3. 鉱業、採石業、砂利採取業 4. 建設業 5. 製造業 6. 電気、ガス、熱供給、水道業 7. 情報通信業 8. 運輸業、郵便業 9. 卸売業、小売業 10. 金融業、保険業 11. 不動産業、物品賃貸業 12. 学術研究、専門・技術サービス業 13. 宿泊業、飲食サービス業 14. 生活関連サービス業、娯楽業 15. 教育、学習支援業 16. 医療、福祉 17. 複合サービス事業 18. その他（ \_\_\_\_\_ ）
4. 現在の明海大学卒業生の在職者数（大学院修了生を含む）： \_\_\_\_\_ 人

### II. 調査項目 明海大学生についてお伺いいたします。

1. 採用に当たってどのような点を重視しますか。  
（次の3項目すべてについて、各々該当する5～1の番号を○で囲んでください。5非常に重視、4やや重視、3普通、2余り重視しない、1重視しない）  
(1) 学力（専門・基礎） 5・4・3・2・1  
(2) 職務能力の適性 5・4・3・2・1  
(3) 人間性（積極性・協調性など） 5・4・3・2・1  
(4) その他（自由記入） \_\_\_\_\_
2. 明海大学の教育内容に求めることは何ですか。番号を○で囲んでください。（複数回答可）  
(1) 専門領域の知識：大学での学修成果の向上が必要。  
(2) 日本語コミュニケーション・スキル  
(3) 外国語コミュニケーション・スキル  
(4) 数量的スキル：自然や社会的事象を論理的に分析理解する。  
(5) 情報リテラシー：多様な情報を適正に判断し効果的に活用する。  
(6) 論理的思考力：情報や知識を複眼的、論理的に分析する。  
(7) 問題解決力：問題を発見し確実に解決できる。  
(8) 自己管理能力：自らを律して行動できる。  
(9) チームワーク、リーダーシップ  
(10) 倫理観：自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる。  
(11) その他（ \_\_\_\_\_ ）

貴社名 \_\_\_\_\_

回答者の部署・役職 \_\_\_\_\_

## ■浦安市内企業アンケート傾向分析【2020～2022 年度】

### 目的

浦安市内の企業にアンケート調査を行い、本学の教育力向上及び学生の社会的・職業的自立に対する指導に関する情報を収集する。

### 調査概要

調査対象：浦安市内に本社がある企業

(求人実績企業・OBOG 在籍企業・企業訪問記録登録企業)

調査方法：調査対象企業に調査内容を記載した往復はがきを送付し、回収した。

	2022 年度	2021 年度	2020 年度
発送数 a	82	74	68
住所不明 b	3	15	0
回収数 c	31	10	12
回収率 $c/(a-b)$	39.2%	16.9%	17.6%

### 結果の概要

- ・回答企業のほとんどが従業員数 500 人未満の中小企業で、2022 年度は「医療・福祉」からの回答が多かった。
- ・採用に当たっては、過年度と同様に多くの企業が「人間性」、「職務能力の適性」を重視しているが、「学力」を「あまり重視しない」という回答が減り、やや重視する傾向にある。
- ・本学の教育内容に求めることについては、「チームワーク・リーダーシップ」との回答が多かった。また、過年度と比べ、「倫理観」との回答が増加した。

### 分析・対策等

- ・採用に当たって学力を重視する企業もあり、採用選考時に SPI 等筆記試験を課す企業も多いことから、低学年からの基礎学力の強化が必要である。
- ・チームワーク・リーダーシップの必要性が高まっていることから、キャリアの授業をはじめとした教育の強化が必要である。
- ・教育内容に求めることについてのアンケート結果から、多様化する社会で活躍する人材を輩出するためには、「チームワーク・リーダーシップ」、「倫理観」といった機械や AI では代替できない社会性や人間性を在学中に伸ばすことが重要である。

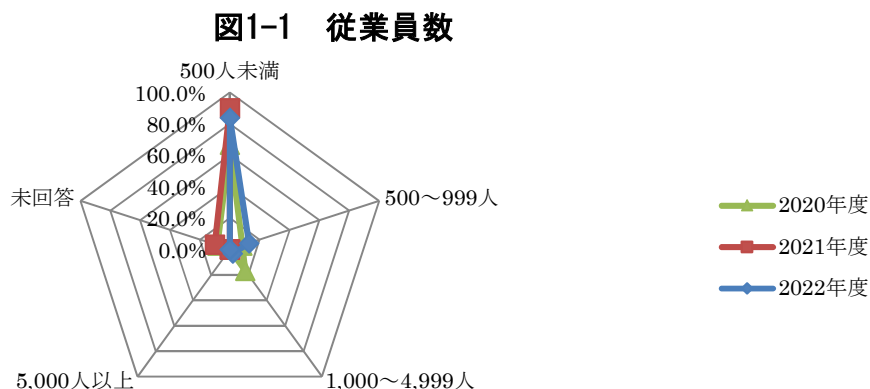
### 詳細

※ 以下、各項目の割合については、四捨五入で計算し表記していることから、合計値が 100%にならない場合がある。

# 1 企業情報

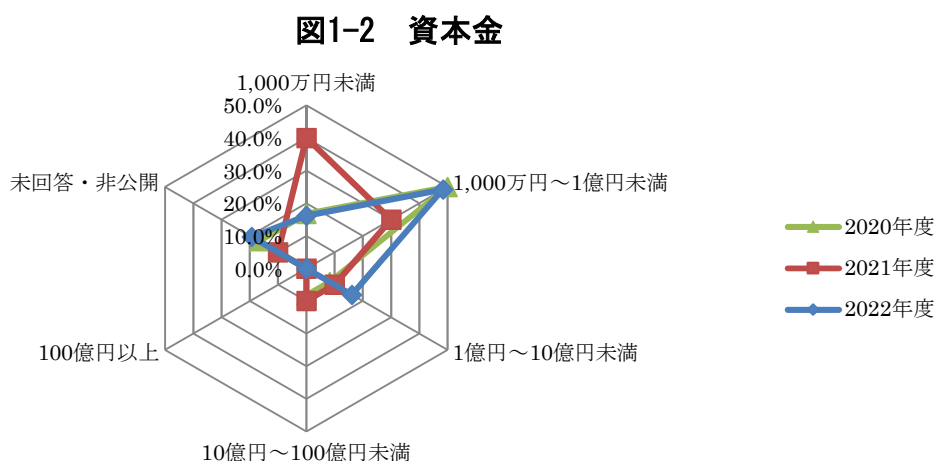
## (1) 従業員数

2022年度は、過年度と同様に従業員数「500人未満」の企業が最も多かった。(図1-1)



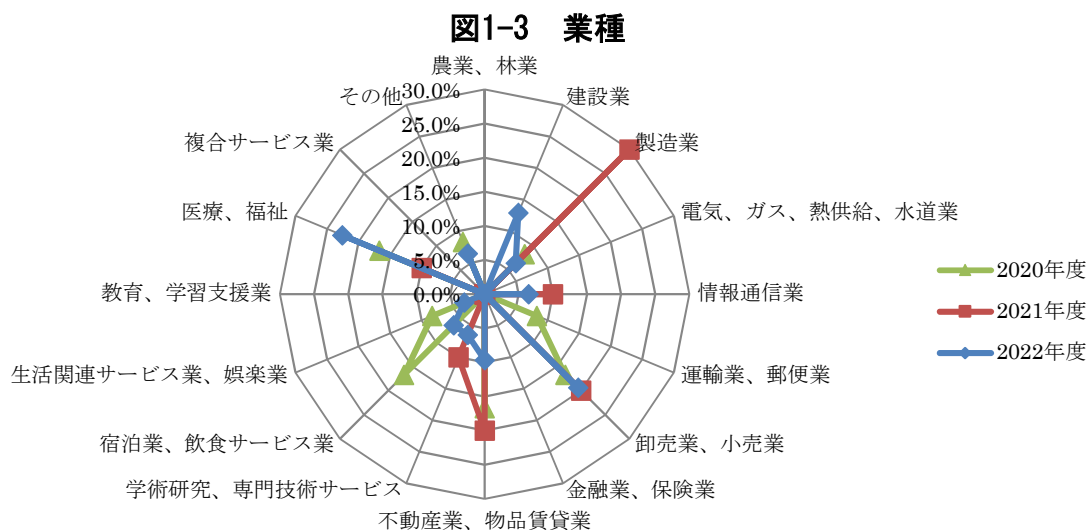
## (2) 資本金

2022年度は、資本金「1,000万円～1億円未満」の企業が最も多かった。(図1-2)



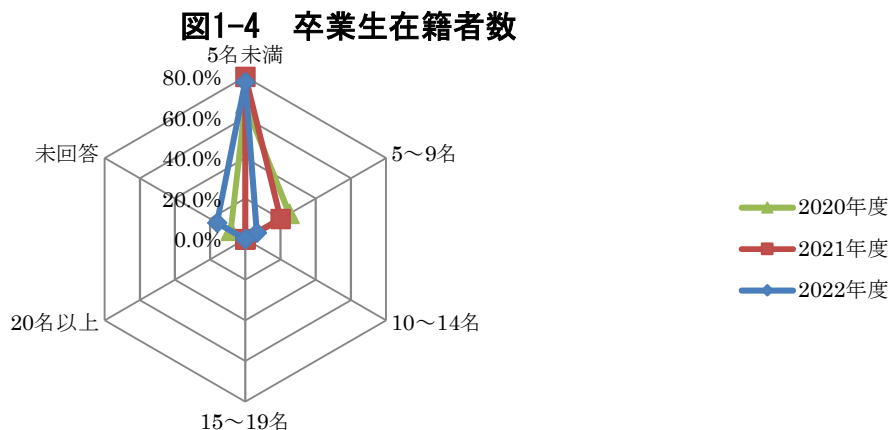
## (3) 業種

2022年度は、「建設業」「医療・福祉」からの回答が増えた。また、過年度と同様に「卸売業、小売業」からの回答が多かった。(図1-3)



(4) 卒業生在籍者数

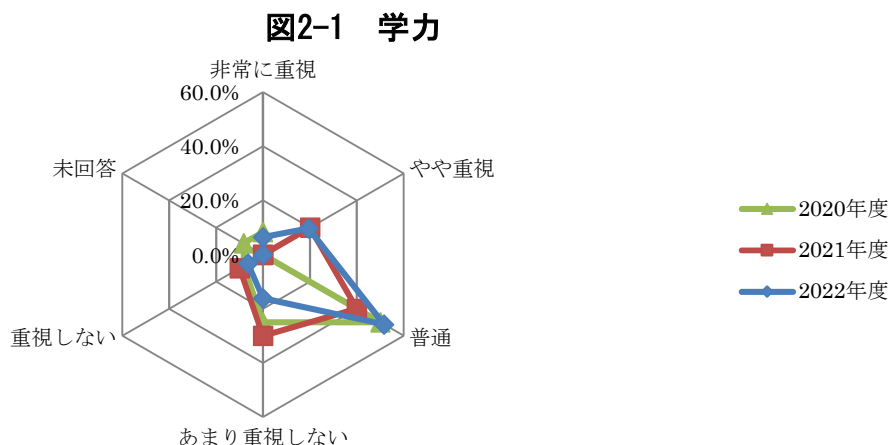
2022年度は、過年度と同様に「5名未満」の企業が最も多く、8割弱を占めた。(図1-4)



2 採用に当たって重視する点

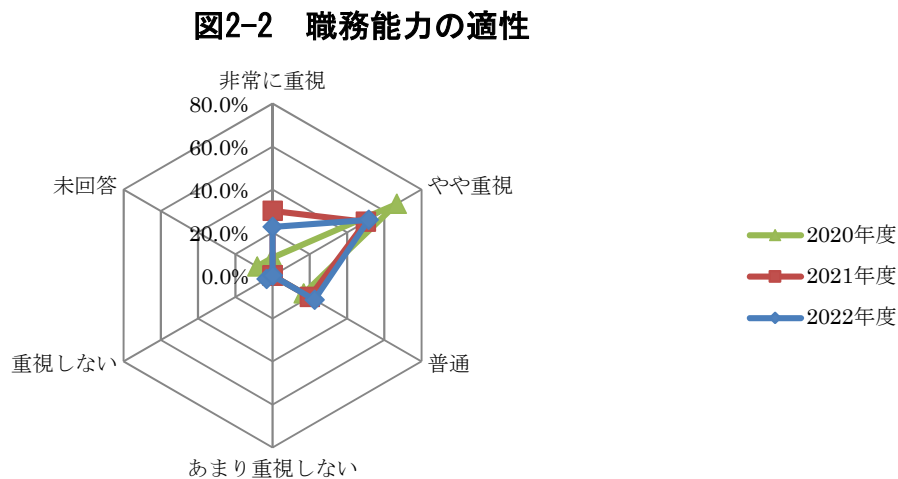
(1) 学力 (専門・基礎)

2022年度回答企業の8割弱が、「非常に重視・やや重視・普通」と回答した。過年度は「普通・あまり重視しない・重視しない」が8割を超えていたため、学力をやや重視する傾向にあることがわかる。(図2-1)



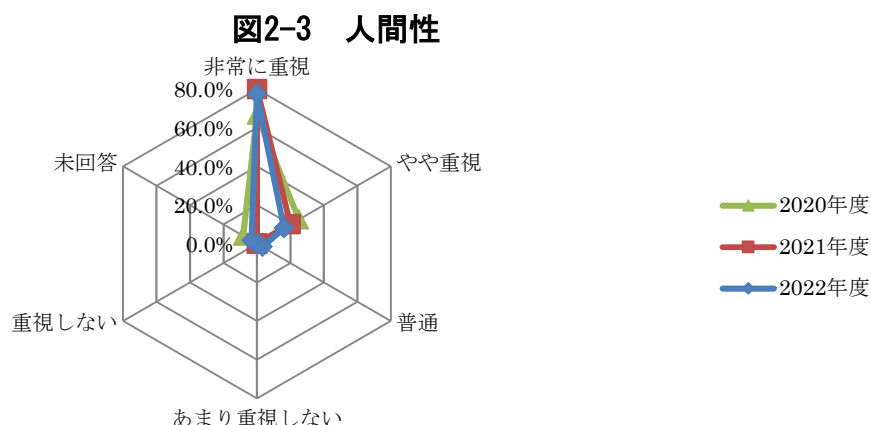
(2) 職務能力の適性

2022年度は、過年度と同様に「非常に重視・やや重視」が7割以上を占めた。(図2-2)



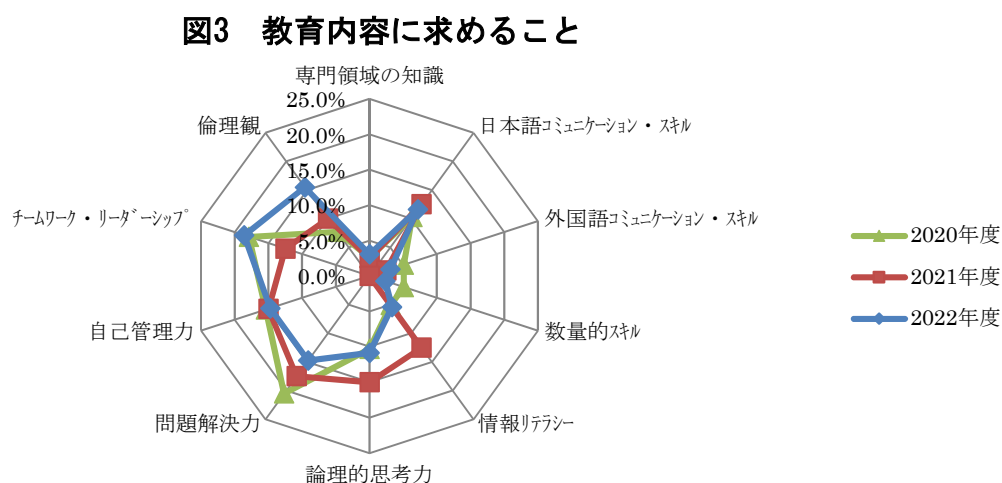
(3) 人間性（積極性・協調性など）

2022年度は、9割以上の企業が人間性を「非常に重視・やや重視」しており、過年度と同様に採用に当たって最も重視する傾向にある。（図2-3）



3 明海大学の教育内容に求めること

2022年度は、「チームワーク・リーダーシップ」が最も多かった。また、過年度と比べ「倫理観」との回答が増加した。（図3）



4 添付資料

明海大学生に関するアンケート調査集計結果（2022年度）

明海大学生に関するアンケート調査集計結果（2022年度）

1 発送対象等

浦安市内に本社がある企業 82 社（求人実績企業・OBOG 在籍企業・企業訪問記録登録企業）

2 発送数・回収状況等

発送数 a	82
住所不明 b	3
回収数 c	31
回収率 $c/(a-b)$	39.2%

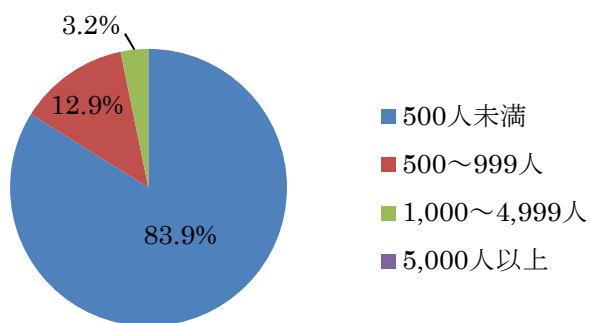
I 基礎項目 貴社の概要についてお伺いいたします。

※ 以下、各項目の割合については、四捨五入で計算し表記していることから、合計値が 100%にならない場合がある。

1 従業員数

従業員規模別では、「500 人未満」が最も多く 26 社（83.9%）であった。回答のうち、従業員数が最も少なかったのは、2 人（建設業）で、最も多かったのは、1,000 人（卸売業、小売業）であった。

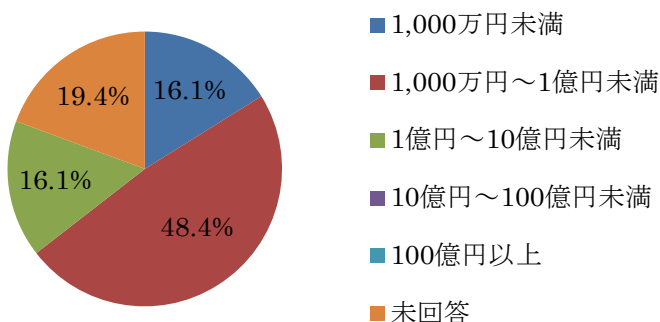
従業員数	回答数
500 人未満	26
500~999 人	4
1,000~4,999 人	1
5,000 人以上	0
未回答	0
合計	31



2 資本金

資本金規模別では、「1,000 万円~1 億円未満」が最も多く 15 社（48.4%）、次いで「1,000 万円未満」「1 億円~10 億円未満」の各 5 社（16.1%）であった。回答のうち、資本金の最大額は 6 億 3 千万円（卸売業、小売業）であった。

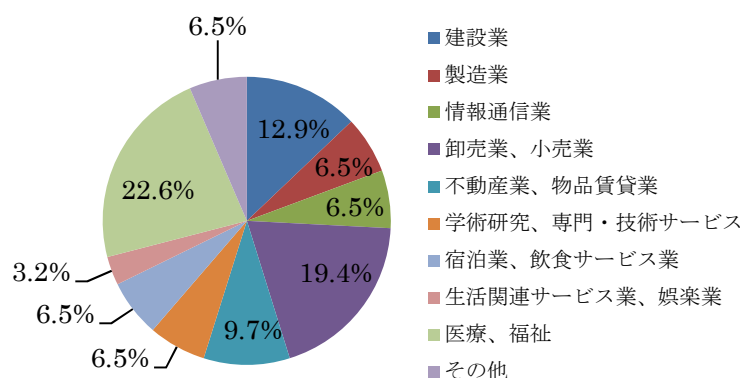
資本金	回答数
1,000 万円未満	5
1,000 万円~1 億円未満	15
1 億円~10 億円未満	5
10 億円~100 億円未満	0
100 億円以上	0
未回答	6
合計	31



### 3 業種

業種については、9業種に分布が見られた。最も多かった業種は、「医療、福祉」の7社（22.6%）であった。

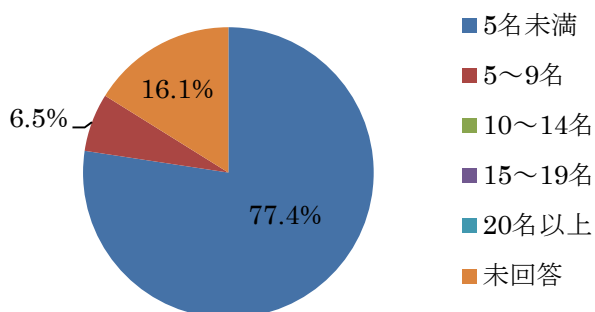
業種	回答数
建設業	4
製造業	2
情報通信業	2
卸売業、小売業	6
不動産業、物品賃貸業	3
学術研究、専門・技術サービス業	2
宿泊業、飲食サービス業	2
生活関連サービス業、娯楽業	1
医療、福祉	7
その他	2
合計	31



### 4 現在の明海大学卒業生の在籍者数

最も多かったのは「5名未満」の24社（77.4%）であった。回答のうち、卒業生在籍者数が最も多かった企業は、7名（宿泊業、飲食サービス業）であった。

卒業生在籍者数	回答数
5名未満	24
5～9名	2
10～14名	0
15～19名	0
20名以上	0
未回答	5
合計	31



## II 調査項目

### 1 採用に当たってどのような点を重視しますか。

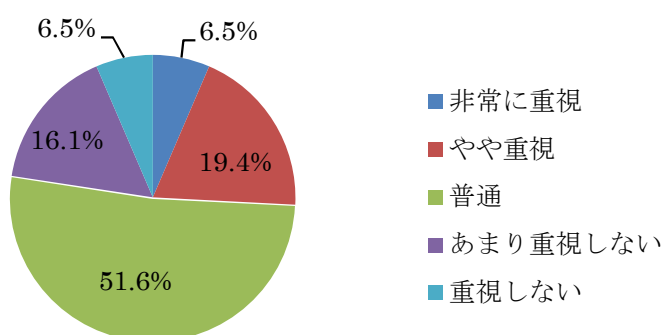
「学力（専門・基礎）」・「職務能力の適性」・「人間性（積極性・協調性など）」の3項目について、企業が最も重視しているのは、「人間性（積極性・協調性など）」で、9割を超える企業から「非常に重視」・「やや重視」との回答があった。次に挙げられたのは、「職務能力の適性」で、「非常に重視」・「やや重視」を合わせて23社（74.2%）が重視していることがわかった。

一方で、「学力（専門・基礎）」については、「普通」が最も多く、「あまり重視しない」・「重視しない」と合わせて23社（74.2%）であった。

「学力（専門・基礎）」はもちろんのこと、学生にいかにか「人間性（積極性・協調性など）」や「職務能力の適性」を身に付けさせるかが、採用時に求められる要素につながってくるものと思われる。

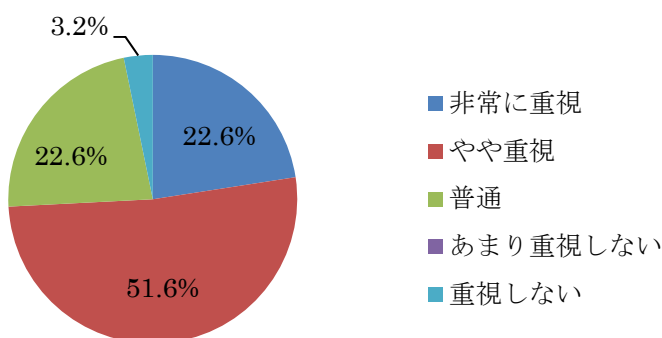
#### (1) 学力（専門・基礎）

学力	回答数
非常に重視	2
やや重視	6
普通	16
あまり重視しない	5
重視しない	2
合計	31



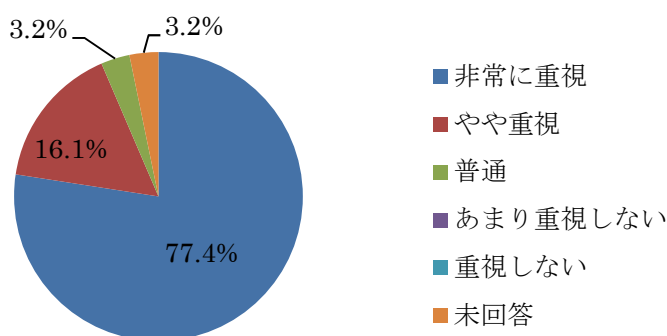
#### (2) 職務能力の適性

職務能力の適性	回答数
非常に重視	7
やや重視	16
普通	7
あまり重視しない	0
重視しない	1
合計	31



#### (3) 人間性（積極性・協調性など）

人間性	回答数
非常に重視	24
やや重視	5
普通	1
あまり重視しない	0
重視しない	0
未回答	1
合計	31





(4) その他（自由記入）

採用に当たって重視する点として、次の回答があった。

- ・素直な人、謙虚な人、勉強熱心な人
- ・元気な方、相手の立場になって考えることができる方
- ・思いやりのある方
- ・コミュニケーション能力、業界や仕事に対する熱意
- ・明るく元気でリーダーシップをとれる人
- ・当社への興味、機械への関心があるか（製造業）
- ・簿記検定資格（経済団体）
- ・高齢者福祉への考え（医療、福祉）

2 明海大学の教育内容に求めることは何ですか。（複数回答可）

本学の教育内容に求めることで「チームワーク・リーダーシップ」を挙げた企業が 24 件（回答企業の 77.4%）と最も多く、次いで「倫理観」の 20 件（回答企業の 64.5%）であった。一方で最も少なかったのは「数量的スキル」の 3 件であった。

回答	回答数
専門領域の知識	4
日本語コミュニケーション・スキル	15
外国語コミュニケーション・スキル	4
数量的スキル	3
情報リテラシー	7
論理的思考力	14
問題解決力	19
自己管理能力	19
チームワーク・リーダーシップ	24
倫理観	20

